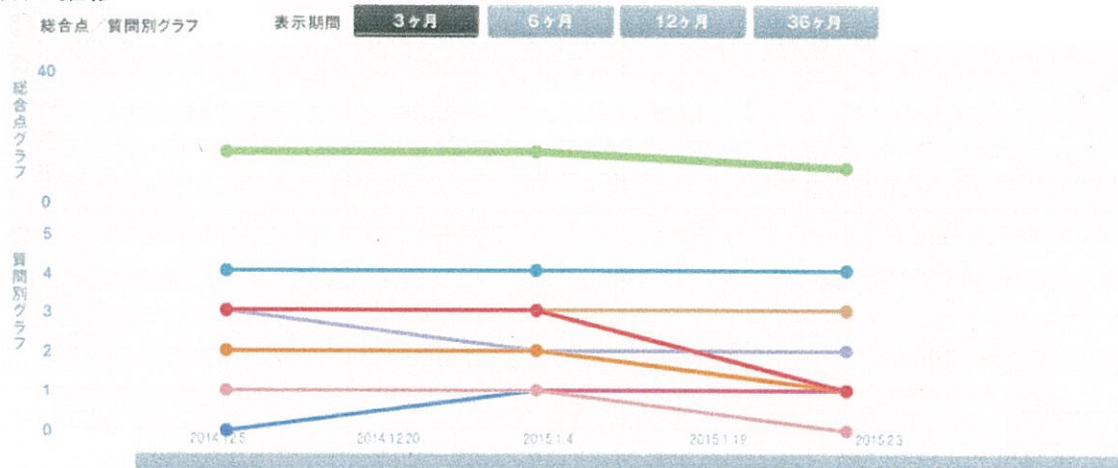


COPDアセスメントテスト(CAT)



患者コード(カルテ番号)	性別 男	生年月日
患者氏名	年齢 65	診察日 2015年2月3日

点数の推移



- (質問1) 咳の状態
- (質問2) 喀痰の状態
- (質問3) 胸苦しさ、息苦しさ
- (質問4) 息切れ
- (質問5) 家での生活
- (質問6) 外出への自信(精神面)
- (質問7) 睡眠の質
- (質問8) 活力(元気)
- CATの総合点合計

点数	影響レベル	CDPDの影響の全体像	治療上の考慮事項
31点以上	非常に高い	症状のためにやりたいことが何もできず、調子の良い「good days」がない。 入浴やシャワーは何かかかっても、とても時間がかかる。 買い物や息抜きのための外出も、家事もできない。 ベッドや椅子からほとんど離れられないことも多い。 自分は寝たきりになったと感じる。	患者には改善の余地が十分ある。 影響レベルが「中程度」「低い」の項目に追加して ・専門医への紹介(プライマリケア医の場合) 次のことも考慮する。 ・薬物治療の追加
21~30点	高い	COPDのためにやりたいことがほとんどできない。 家の中を歩いたり、顔を洗ったり着替えたりしていると息切れをする。 話すときに息切れをすることもある。 咳で体力が奪われ、胸の症状のために眠れない夜が多い。 運動すると危ない気がして、何をすることも大変な労力が要るように思える。 不安や恐怖心に襲われ、胸の症状をコントロールできないと感じる。	患者には改善の余地があるので、最適な治療方針をとる。 影響レベルが「低い」の項目に追加して ・安定期に治療が最適かどうかを見直す ・呼吸リハビリテーションの紹介 ・増悪を最小限に抑えるために最善の策を講じる ・喫煙を続けているかどうかなど、悪化因子を見直す
10~20点	中程度	COPDが自分にとって大きな問題の一つになっている。 週に何日かは調子の良い「good days」があるが、ほとんどの日は咳が痰が出て、年に1、2回は増悪を起こす。 常に息切れがし、胸がしめつけられたり息苦しくなったりして就寝中に目が覚めることがよくある。 かがむと息切れし、階段はゆっくりとしか上れない。家事はゆっくりやるか、途中で休みながらでないといけない。	患者には改善の余地があるので、最適な治療方針をとる。 影響レベルが「低い」の項目に追加して ・禁煙 ・インフルエンザ予防接種(年1回) ・増悪リスク因子への曝露を減らす ・通常の臨床検査をもとにした治療
9点以下	低い	ほとんどの日は調子が良いが、COPDに関連する問題がいくつかあり、やりたいこともできないことが1つか2つある。 週に何日かは咳が出て、スポーツやゲーム、力仕事をするとう息切れがある。 坂を上るときや、平坦な道でも急いで歩くと、歩調を緩めたり立ち止まったりしなくてはならない。 疲れやすい。	患者には改善の余地があるので、最適な治療方針をとる。 影響レベルが「低い」の項目に追加して ・禁煙 ・インフルエンザ予防接種(年1回) ・増悪リスク因子への曝露を減らす ・通常の臨床検査をもとにした治療